

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年5月16日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部経済学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2025年5月13日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	モロッコ
留学先大学	アル＝アハワイン大学(日本語名) Al Akhawayn University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語、フランス語、アラビア語等/英語
留学期間	2024年8月～2025年5月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 9月初旬～12月下旬 2 学期: 1月下旬～5月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	1 学年 2000～2500 人
創立年	1995 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (モロッコディルハム) (1 現地通貨 = 15 円)	B 日本円	備考
授業料	0	円	
宿舍費		40 万円	
食費		25 万円	
図書費		0 円	宿舍費に含む
学用品費		0 円	宿舍費に含む
携帯・インターネット費	約 400 MAD	円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)		60 万円	
被服費	約 60MAD	円	
医療費	0	円	
保険費		10 万円	形態:
渡航旅費		28 万円	
ビザ申請費	約 200MAD	円	
雑費	2000MAD	円	お土産代
その他		9 万円	予防接種
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	2660 (=約 40,000 円)	172 万円	
総計(A+B) ※円		176 万円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: _____)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: 留学担当アドバイザー)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大使館からのメールを確認しました。犯罪等に巻き込まれたことはありません。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校のインターネットが不安定なことが頻繁にある。緊急でインターネットに接続したいときにはダウンタウンにデータをチャージしに行きました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Wise アカウントを作成し、Wise カードを使って現地の ATM からお金をおろしていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

基本的に日本食は手に入りません。醤油、春雨、海苔、米、ごま油、酢等は手に入りますが割高です。中華だしを持っていくことをお勧めします。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
21 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Arabic Beginning I	初級アラビア語
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	2.00
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	EL BAKILLI, Jaouad
授業内容	文字の読み書き、自己紹介、簡単な文の作成
試験・課題等	二週間に一回ほどの課題、中間試験、期末試験
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Contemporary World History	現代世界史
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3.00
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	MAGHRAOUI, Sidi Driss
授業内容	近代の形成における歴史的触媒としてのヨーロッパの政治、社会、文化史を、特にアフリカ、アジア、ラテンアメリカといった他の地域とヨーロッパとの相互作用に焦点を当てて学ぶ。
試験・課題等	毎週の課題、期末試験
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
History and Culture of the Amazigh	アマジク人の歴史と文化
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3.00
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が2回
担当教授	KABEL, Ahmed
授業内容	モロッコの先住民の歴史と文化を学ぶ。
試験・課題等	毎週のレポート課題
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Women And Economic Development	
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3.00
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が2回
担当教授	DARMAME, Khadija
授業内容	この講義では、経済発展における女性の役割・課題・貢献に焦点を当て、理論・実証データ・政策の観点から学びます。農村・都市、正式・非正式な経済活動における女性の働き方や、土地・財産・収入・技術・資金・環境へのアクセスなどの重要な問題を扱う。特にアフリカや中東における国家・国際レベルの政策が女性に与える影響を考える。 第二次世界大戦後に形成された国際開発の概念や、その後のポストコロニアルな視点からの批判も取り上げ、また、世界各地におけるジェンダーと開発に関する議論や文献も学ぶ。最終的には、ジェンダー格差の是正と、特にグローバル・サウスにおける全ての人々の福祉向上を目指す政策・戦略を評価する。
試験・課題等	レポート4回
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Islamic Art & Architecture	
科目設置学部・研究科	
履修期間	春学期
単位数	3.00
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	
授業内容	この講義は、イスラームの誕生から18世紀までのイスラーム美術・デザイン・建築についての入門的かつ概観的な内容を提供する。イスラーム美術・建築・デザインが歴史的に存在してきた世界各地——アラビア半島、中東、南アジア、北アフリカなど——に焦点を当てる。また、現代におけるイスラーム美術・デザイン・建築についても簡単に取り上げる。
試験・課題等	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Beginning French I	初級フランス語
科目設置学部・研究科	
履修期間	春学期
単位数	3.00
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	OUAKRIME, Yasmine
授業内容	自己紹介、他己紹介、道案内等
試験・課題等	中間試験、期末試験、三週に一回程度の小テスト、週一回程度の課題
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
History of the Arab World	アラブ世界の歴史
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	3.00
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	AKHTAR, Ali Humayun
授業内容	イスラームの興隆から現代に至るまでのアラブ世界の歴史を扱う。アラブ社会のさまざまな歴史を理解するために、社会的・文化的な視点を重視する。政権や主要な出来事に焦点を当てた政治史とのバランスを取りながら、アラブ世界の一般の人々にとって重要な、長期的な社会的・文化的変化にも注目する。
試験・課題等	中間レポート、期末レポート、プレゼンテーション
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intro to African Politics	
科目設置学部・研究科	
履修期間	春学期
単位数	3.00
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	MUGAMBI, Munene
授業内容	アフリカの独立以降の政治的な変遷について考察する。主なテーマの一部には、ほぼすべての国で行われた経済改革の波や、「破綻国家」とそれに伴う内戦といった問題が含まれる。 また本講義では、アフリカに適している、あるいはアフリカから生まれうる政治モデルについても探求する。そこには、国家を正統な政治単位とする枠組みを越えて、社会に根ざした政治運動なども含まれる。
試験・課題等	小テスト2回、レポート課題2回、プレゼンテーション
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Beginning Spanish I	
科目設置学部・研究科	
履修期間	春学期
単位数	3.00
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	BERRADA, Adil
授業内容	教科書に沿った講義、会話
試験・課題等	小テスト2回、中間試験、期末試験
感想を自由記入	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	英語学習
	8月～9月	検定試験・留学先選び
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	予防接種開始
	4月～7月	航空券購入
	8月～9月	渡航
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私が留学先としてモロッコを選んだ理由は、日本と全く異なる環境で生活してみたかったから、そしてアフリカ大陸とイスラーム文化に興味があったからです。

明治大学とアル＝アハワイン大学との提携は 2024 年度から始まったと聞いています。アル＝アハワイン大学では先生方と生徒の距離が近いので、授業中のコミュニケーションや質問・相談がしやすい環境です。

モロッコの生活は日本とは全く異なっていて驚きの連続です。文化の違いに戸惑うことは多いですが、現地の人々のフレンドリーな対応やホスピタリティに何度も救われました。日本と全く違った環境で生活する機会はなかなか得られないと思うので、興味がある方はぜひ検討してみてください。